別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	（法人にあっては名称） マックスバリュ西日本株式会社	住所	（法人にあっては主たる事業所の所在地） 〒 732-0814 広島県広島市南区段原南一丁目3－52広島段原ショッピングセンター5階
本票作成	部署名：総務部		
主たる業種	分類コード 56	業種名：各種商品小売業	
事業の概要	食品スーパーマーケット、ディスカウントストアの経営		

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	マックスバリュイオンタウン水島店	岡山県倉敷市水島高砂町３番３５号
	②	マルナカ新倉敷店	岡山県倉敷市玉島爪崎９８１－１
	③	マルナカマスカット店	岡山県倉敷市松島１１５４－２
	④	マルナカ山陽店	岡山県赤磐市下市１３３
	⑤	マルナカ高屋店	岡山県岡山市中区高屋３６－１
	⑥	マルナカ中島店	岡山県倉敷市中島２７８０－１

特定事業者の該当要件	☑①燃料等原油換算1,500kℓ以上 □②ﾊﾞｽ・ﾄﾗｯｸ100台、ﾀｸｼｰ250台以上 □ ③CO_2換算3,000t以上 （●工場等の数 67 所 ●車両台数（②該当の場合） 台）

計画期間	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度 （ 5 箇年度）								
削減目標	いずれかを選択	☑ 総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		□ 原単位基準	4.9 %						○

温室効果ガス排出量	基準年度（令和 元 年度）	目標年度（令和 6 年度）
	74,059 t CO_2	70,430 t CO_2

基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	基準年度（令和 元 年度）の排出量
	①	マックスバリュイオンタウン水島店	2,443 t CO_2
	②	マルナカ新倉敷店	2,413 t CO_2
	③	マルナカマスカット店	2,368 t CO_2
	④	マルナカ山陽店	2,243 t CO_2
	⑤	マルナカ高屋店	2,013 t CO_2
	⑥	マルナカ中島店	1,980 t CO_2

※ 「計画期間」欄には，５箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

（原単位基準の削減目標を選択した場合に記入）	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO_2 / （ ）	CO_2 / （ ）

（該当事業者のみ記入）

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値（令和 元 年度）	達成率(%)
	食料品スーパー業	0.799 以下	1.047	76.3%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

2025年温室効果ガス削減目標9.0%（2010年比）に向けて、店内照明や冷ケース照明、また外灯照明のLED化へ更新に加え、冷ケース冷媒ガス入替による設備更新などハード面による取組みと、ソフト面では冷ケースのハニカム清掃、フィルター清掃及び室外機のフィン清掃、不要箇所の照明消灯など人による省エネ・節電の取組を行う事で温室効果ガス排出量の削減に繋げる。

【目標削減率達成のための推進体制】

ISO14001の取り組みを中心に従業員への教育を進める。特に電気使用量削減に対する取組では、店舗ごとに目標設定と進捗管理を実施し、後方へ実績掲示し「見える化」を実施し、従業員の意識を高める体制を構築する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全店	冷蔵・冷凍ケースのハニカム清掃（冷蔵冷凍機の負荷軽減） 冷蔵・冷凍ケースの温度設定の適正化。 事務所・作業場のフィルター清掃と室外機フィン清掃による 空調設備の負荷軽減。 ISOを利用した電気使用量の目標と実績の見える化により 従業員を巻き込んだ省エネ意識向上と省エネ活動に繋げています。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全店	これまでの主な取組みであるハニカム清掃、フィルター清掃、 室外機のフィン清掃による空調や冷ケースの負荷軽減、温度設定 適正化により電力使用量の削減の取組を継続する。
具体的店舗や時期は未定 （老朽化設備の更新）	老朽化した冷ケースの入れ替え、冷媒ガスの入れ替え。 照明（売場、冷ケース、外灯）のLED更新を令和7年度までに 老朽化した設備を中心に入れ替えを段階的に行う。 具体的店舗は未定だが、中国電力エリア（広島県、山口県含む）で LED更新を81店舗、棚照明LED化を11店舗、冷媒ガス入れ替えを 令和7年度までに34店舗計画している。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

2021年3月にマックスバリュ西日本（株）と山陽マルナカ（株）、マルナカ（株）の3社合併により マックスバリュ（株）と山陽マルナカ（株）が一体となった温室効果ガス削減計画の作成が 必要となった為、このたび計画を変更いたしました。